

## 平成 24 年度 第 2 四半期決算について

### 1. 連結業績概要（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

#### ● 売上高（営業収益）

当第 2 四半期は、販売電力量が 292.0 億 kWh と前年同期に比べ 7.7 億 kWh の減となったものの、燃料費調整制度の影響などにより、電気料金収入は 178 億円増加しました。これに加え、他の電力会社への販売電力量が増加したことなどから、**売上高(営業収益)**は 6,021 億円と、前年同期に比べ 379 億円の**増収**となりました。

#### ● 経常利益

経営全般の効率化に努めたものの、島根原子力発電所 1、2 号機の運転停止等による原料費の増加などから、営業費用は 6,006 億円と、前年同期に比べ 654 億円の増加となりました。

この結果、営業利益は 15 億円と、前年同期に比べ 275 億円の減少となりました。

また、支払利息などの営業外損益を加えた**経常損益**は 99 億円の損失となり、前年同期に比べ 260 億円の**減益**となりました。

#### ● 四半期純利益

渴水準備金を取崩し、原子力発電工事償却準備金を引き当て、法人税などを控除した結果、69 億円の純損失となりました。

(単位: 億円, 未満切捨)

区 分	当第 2 四半期	前年同期	差 引	増減率
売 上 高	6,021	5,642	379	6.7%
営 業 利 益	15	291	△275	△94.6%
経 常 利 益	△ 99	161	△260	—
四 半 期 純 利 益	△ 69	54	△123	—

(参考) 中国電力個別決算

(単位: 億円, 未満切捨)

区 分	当第 2 四半期	前年同期	差 引	増減率
売 上 高	5,697	5,331	365	6.9%
営 業 利 益	△ 48	236	△285	—
経 常 利 益	△146	129	△276	—
四 半 期 純 利 益	△ 91	48	△139	—

中間配当につきましては、1 株につき 25 円とすることとしました。

## 2. 収支諸元(中国電力個別)

### ● 販売電力量

当第2四半期の販売電力量は292.0億kWhと、前年同期に比べ2.6%の減少となりました。電灯は、夏季の高気温による冷房需要の増加があったものの、春先の気温が高めに推移したことや節電等の影響などから、前年同期を下回りました。

産業用の大口電力は、化学や鉄鋼が減少したことなどから、前年同期を下回りました。

(単位：億kWh)

区 分		当第2四半期	前年同期	差 引	増減率
特定規模 需要以外 の需要	電 灯	86.8	89.1	△ 2.3	△ 2.5%
	電 力	12.4	13.0	△ 0.6	△ 4.8%
	計	99.2	102.1	△ 2.9	△ 2.8%
特定規模 需 要	業 務 用	57.3	57.9	△ 0.6	△ 1.1%
	産 業 用 (大口再掲)	135.5 (113.5)	139.7 (117.2)	△ 4.2 (△ 3.7)	△ 3.0% (△ 3.2%)
	計	192.8	197.6	△ 4.8	△ 2.4%
合 計		292.0	299.7	△ 7.7	△ 2.6%

### ● 発電電力量

自社の水力発電は、前年同期に比べ出水減により減少しました。原子力発電は、運転停止により減少しました。

自社の火力発電および他社受電は、販売電力量の減少があったものの、原子力発電の運転停止や融通送電の増などにより増加しました。

(単位：億kWh)

区 分		当第2四半期	前年同期	差 引	増減率
自 社	(出水率) 水 力	( 86.3%) 17.8	(119.0%) 24.6	(△32.7%) △ 6.8	 △27.9%
	火 力	198.8	165.6	33.2	20.1%
	(設備利用率) 原 子 力	( - ) —	( 64.0%) 36.0	(△64.0%) △36.0	 —
	新エネルギー等	0.0	—	0.0	—
	計	216.6	226.2	△ 9.6	△ 4.2%
他 社 受 電		120.5	109.3	11.2	10.2%
融 通		△15.9	△ 5.7	△10.2	177.0%
揚 水 動 力		△ 5.3	△ 7.6	2.3	△29.8%
合 計		315.9	322.2	△ 6.3	△ 2.0%

### 3. 連結収支概要

(単位: 億円, 未満切捨)

区 分		当第2四半期	前年同期	(増減率) 差 引	摘 要	
売 上	電気料金収入	4,959	4,781	( 3.7%) 178	燃料費調整制度の影響ほか 他の電力会社への販売電力量 の増ほか	
	そ の 他	530	366	(44.6%) 163		
	小 計	5,489	5,147	( 6.6%) 342		
高	その他の事業	1,160	1,067	92		
	連結処理	△ 628	△ 572	△ 55		
	合 計	[5,697] 6,021	[5,331] 5,642	[365] 379		
営業外収益		65	58	7		
経常収益合計		6,087	5,701	386		
営 業 費 用	人 件 費	587	575	11	原子力運転停止による増ほか	
	原 料 費	燃 料 費	1,881	1,387		493
		他社購入ほか	1,125	1,054		71
		小 計	3,007	2,442		564
	修 繕 費	593	477	116		
	減 価 償 却 費	505	551	△ 46		
	原子力バック エンド費用	31	66	△ 35		
	そ の 他	815	794	20		
	小 計	5,540	4,908	(12.9%) 631		
	その他の事業	1,093	1,018	74		
連結処理	△ 627	△ 576	△ 51			
合 計	6,006	5,351	(12.2%) 654			
〔支払利息〕		[126]	[130]	[△4]		
営業外費用		180	188	△ 8		
経常費用合計		6,186	5,539	646		
営業利益		[△48] 15	[236] 291	[△285] △ 275		
経常利益		[△146] △ 99	[129] 161	[△276] △ 260		
渴水準備金		△ 20	17	△ 37		
原子力発電工事 償却準備金		6	36	△ 30		
法人税ほか		△ 15	52	△ 67		
四半期純利益		[△91] △ 69	[48] 54	[△139] △ 123		

(注) ・〔 〕内は、中国電力個別決算の数値を記載しています。

- ・「原子力バックエンド費用」は、使用済燃料再処理等費、使用済燃料再処理等準備費、特定放射性廃棄物処分費、原子力発電施設解体費の総額を記載しています。

#### 4. セグメント情報

(単位：億円，未満切捨)

区 分		電気事業	総合エネルギー 供給事業	情報通信事業
売上高	当第2四半期	5,489	253	186
	前年同期	5,147	229	176
	差 引	342	23	10
営業費用	当第2四半期	5,540	246	155
	前年同期	4,908	223	151
	差 引	631	22	4
営業利益	当第2四半期	△ 50	6	31
	前年同期	238	5	25
	差 引	△ 289	0	6

##### ● 電気事業

当第2四半期は、販売電力量が 292.0 億 kWh と前年同期に比べ 7.7 億 kWh の減となったものの、燃料費調整制度の影響などにより、電気料金収入は 178 億円増加しました。これに加え、他の電力会社への販売電力量が増加したことなどから、売上高（営業収益）は 5,489 億円と、前年同期に比べ 342 億円の増収となりました。

経営全般の効率化に努めたものの、島根原子力発電所 1、2 号機の運転停止等による原料費の増加などから、営業費用は 5,540 億円と、前年同期に比べ 631 億円の増加となりました。

この結果、営業損益は 50 億円の損失となり、前年同期に比べ 289 億円の減益となりました。

##### ● 総合エネルギー供給事業

石炭販売事業の売上の減少はあったものの、LNG 販売事業などの売上が増加したことから、売上高（営業収益）は 253 億円と、前年同期に比べ 23 億円の増収となりました。

燃料価格上昇等による原料費の増加などから、営業費用は 246 億円と、前年同期に比べ 22 億円の増加となりました。

この結果、営業利益は 6 億円となり、前年同期に比べ 0.7 億円の増益となりました。

##### ● 情報通信事業

情報処理事業収入や法人向け事業収入が増加したことなどから、売上高（営業収益）は 186 億円と、前年同期に比べ 10 億円の増収となりました。

委託費の増加などから、営業費用は 155 億円と、前年同期に比べ 4 億円の増加となりました。

この結果、営業利益は 31 億円となり、前年同期に比べ 6 億円の増益となりました。

## 5. 業績予想

業績予想につきましては、電力需給に係る収益・費用を合理的に予想することが困難であることから、連結・個別とも、前回公表時（平成 24 年 7 月）に引き続き未定としております。

今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

【 参 考 】

平成 24 年度 第 2 四半期決算 主要ポイント

項 目	平成 24 年度 第 2 四半期		平成 23 年度 第 2 四半期	
	連 結	個 別	連 結	個 別
決 算 概 要	H 22 以来 2 年ぶり 増収(+379 億円) 減益(△260 億円)	3 年連続 増収(+365 億円) 減益(△276 億円)	H 18 以来 5 年ぶり 増収(+236 億円) 増益(+ 3 億円)	2 年連続 増収(+236 億円) 減益(△ 6 億円)
売 上 高 水 準	実施以来第 1 位 (6,021 億円)	史上第 1 位 (5,697 億円)	実施以来第 2 位 (5,642 億円)	史上第 2 位 (5,331 億円)
《料金収入水準》	—	《史上第 2 位》 (4,959 億円)	—	《史上第 5 位》 (4,781 億円)
経 常 利 益 水 準	実施以来第 12 位 (△99 億円)	史上第 61 位 (△146 億円)	実施以来第 10 位 (161 億円)	史上第 32 位 (129 億円)
四半期純利益水準	実施以来第 12 位 (△69 億円)	史上第 61 位 (△91 億円)	実施以来第 10 位 (54 億円)	史上第 33 位 (48 億円)
営 業 利 益 水 準	実施以来第 12 位 (15 億円)	史上第 61 位 (△48 億円)	実施以来第 11 位 (291 億円)	史上第 33 位 (236 億円)
有利子負債残高	1 兆 7,656 億円	1 兆 7,487 億円	1 兆 7,624 億円	1 兆 7,123 億円
為 替 レ ー ト (インターバンク)	79 円/\$		80 円/\$	
原 油 C I F 価 格 (全日本)	114.0\$/b		113.9\$/b	
海 外 炭 C I F 価 格 (全日本)	132.6\$/t		140.6\$/t	
原子力設備利用率	—		64.0%	

- ・第 2 四半期の連結決算は、平成 12 年度から実施
- ・順位は各決算時点での過去の金額との単純比較
- ・平成 24 年度第 2 四半期の原油及び海外炭 CIF 価格は速報値

以 上